



医療現場での通訳について実践的に学ぶ 「医療通訳セミナー」

【概要】

開催日時:

令和4年11月6日(日)

「医療通訳セミナー初級編」
10:00～13:00

「医療通訳セミナー中級編」
14:30～17:30

参加者:

①初級編 21名

②中級編 16名

会場:

札幌市教育文化会館
研修室305

主催:

(公財)札幌国際プラザ

共催:

札幌市保健所

後援:

(一社)札幌市医師会、
(公社)北海道看護協会、
(福)札幌市社会福祉協議会

11月6日(日)、押味貴之氏(国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター准教授、日本医学英語教育学会理事)を講師にお招きし、医療通訳について実践的に学ぶセミナーを開催しました。

午前中の「初級編」では、医療通訳の認証制度・人材育成など、日本の医療通訳を取り巻く現状について分かりやすく解説。

また医療通訳には語学力や医療知識の他に、人権尊重、中立性、誠実さ、礼儀とマナーなどの高い行動規範も期待されることを学びました。そして、単に通訳するだけでなく、相手の意図を汲み取って伝えるなど、相互理解を促進することが重要とのお話もありました。

午後の「中級編」では、現役の医療通訳者も参加してグループに分かれ、患者に見立てた外国人ボランティアに対し通訳練習を行いました。参加者は、糖尿病や喘息など、4つのケースで通訳練習を行いました。

3年ぶりに対面形式での開催となった今回は、延べ37名の方にご参加いただきました。参加者からは「医療通訳の心構えを知ることができた」「ロールプレイが良い刺激になった」等の声が多く寄せられました。

札幌国際プラザでは、日本語を話さない外国人住民や観光客が、安心して医療を受けることができるよう、そのサポートを行う人材を育成する取り組みを続けています。



講師の押味貴之先生



講義の様子



ロールプレイの様子

(公財)札幌国際プラザ 多文化交流部
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階
TEL 011-211-2105 FAX 011-232-3833
多文化交流部ホームページ https://plaza-sapporo.or.jp/citizen_j/